



石海小学校だより

校訓 「あかるく なかよく かいっぱい」

太子町立石海小学校
NO.8 令和4年12月15日
発行者：校長 久保田 昌之

成長した子どもたち



朝夕が冷え込むようになり、今年も残りわずかとなってきました。新型コロナウイルス感染症がなかなか収束しませんが、さまざまな行事を予定通り実施することができました。

学校行事や日常の学習を通して、「友だちと協力すること」「ねばり強く努力すること」を学んでいる石海小の子どもたち。みんなの心をひとつにできる経験が仲間との絆を深め、子どもたちの成長につながっていると思います。令和4年のまとめをしっかり行い、夢と希望のある令和5年へとつなげていきます。

オープンスクール

11月17日(木)から2日間の日程でオープンスクールを行いました。保護者・地域の皆様、お忙しい中、ご来校いただきありがとうございます。日頃の教員の授業だけでなく、ゲストティーチャーをお招きした「手話・点字体験」「防火・救急まめ講座」「サイエンス・トライやる」「ネットモラル講習会」等の授業もご覧いただきました。



防火・救急まめ講座より

また、授業の他に、マラソン大会前のかけ足や給食の様子等、子どもたちの日頃の様子もご覧いただけてよかったです。受付や校内巡視にご協力いただいたPTA 役員の皆様に心より感謝申し上げます。

自分の記録に挑戦したマラソン大会

11月25日(金)、すばらしい天気の下、マラソン大会



を行いました。1・2年生は1km、3・4年生は1.5km、5・6年生は2kmに挑戦しました。保護者や地域の皆様の温かい応援を力に変えて、子どもたちは練習の時よりも、さらに速いタイムで走りぬくことができました。子どもたちの安全のためにご協力いただいたPTA本部・保体部の皆様、ありがとうございました。

たくさんのお豆を収穫

3年生は、「みのり会」の皆様にご協力いただき、大豆の脱穀をしました。前日に雨が降って大豆が湿っていたために、脱穀の機械が途中で止まってしまうこともありましたが、無事に脱穀を終え、たくさんのお豆を収穫することができました。



足踏み式脱穀機

機械式脱穀機

幼稚園・保育園との交流～いわみっこフェスティバル

1年生は、生活科「あきのおもちゃでいっしょにあそぼう」の学習で、「いわみっこフェスティバル」を開催しました。3年ぶりに幼稚園や保育園のお友だちを招き、落ち葉やどんぐり等で工夫して作った「秋のおもちゃ」のお店で、楽しく交流することができました。



元気もりもり ウィンター集会

運営委員会とさまざまな学年の児童の有志が中心となって、「ウィンター集会」を開催しました。「元気もりもり体操」「クイズ」「石海レンジャー(劇)」「クリスマスイルミネーションが輝く中でサンタと一緒にダンス」等、絶えず笑いのうずがわきおこっていました。



全校児童と先生が一体となって盛り上がり、みんな笑顔があふれ、元気もりもりになりました。

***** 教室の窓 *****

「先生のおなかは何で大きいん？」と低学年の児童から…「先生のおなかには夢と希望がいっぱい詰まってんねん。」…いつもそう答えます。中学生の頃、学校の先生になりたいなと思っていました。その夢が叶い、約30年続けることができ、たくさんのお子たちとの出会いがありました。長く生きてきて「やってみたいな」と思うことが更にでき、この歳になっても夢があります。いつまでも夢いっぱい、希望いっぱいいて欲しいなと思い、日々、子どもたちと接しています。

〈文責：教頭 長谷川 大輔〉